

佐世保市名誉市民一覧(12名)

NO	表彰年月日	氏名	役職	備考
1	昭和34年8月31日	故 董 浩雲 とん こううん	INC(Island Navigation Cooperation) 社長(香港)	上海生まれ。経営危機にあった佐世保船舶工業(株)(現・佐世保重工業(株))に自社船タンカー(オリエンタル・チャイナ号・7万ト)を発注し、会社の再建と市経済の振興に大きく寄与された。
2	昭和35年11月28日	故 中田 正輔 なかた まさすけ	元佐世保市長(昭和21年8月21日～昭和30年4月2日)	戦前戦後を通じ衆議院議員、県議会議員、市議会議長を歴任。昭和21年、公選第一期の佐世保市長となり、戦後壊滅に瀕した本市の復興と再建に尽くし(軍港都市転換法制定、海上自衛隊総監部誘致や西海国立公園指定など)、今日の繁栄の基礎を築いた(昭和35年長崎県知事表彰)
3	昭和41年4月1日	故 山口 喜久一郎 やまぐち きくいちろう	元衆議院議長(昭和40年12月～昭和41年3月)	佐世保市生まれ。和歌山に転じ、衆議院議員、国務大臣、衆議院議長を歴任。佐世保船舶工業(株)(現・佐世保重工業(株))の設立、海上自衛隊や労災病院の誘致に奔走し、名切谷米軍住宅移転の中央交渉に尽力された。(昭和42年11月秋、勲一等旭日大綬章受章)
4	昭和41年4月1日	故 北村 徳太郎 きたむら とくたろう	元運輸大臣、大蔵大臣	親和銀行頭取、戦後佐世保市復興委員長、商工会議所会頭の要職につかれる。衆議院議員、運輸大臣、大蔵大臣など国政に参与。日ソ東欧貿易会長等国際的にも活躍され、本市の建設に貢献された。(昭和39年秋、勲二等旭日重光章)
5	昭和46年12月11日	故 山中 辰四郎 やまなか たつしろう	元佐世保市長(昭和30年4月30日～昭和38年4月29日)	市助役を経て、昭和30年から2期8年間、佐世保市長を歴任。特需減退後の危機に瀕した市財政を立て直し、小中学校校舎増改築、国立工業高等専門学校の誘致、佐世保市垂熱帯動植物園、鹿子前観光道の建設などに貢献され、旧軍用財産の平和産業文化施設建設に尽力された。
6	昭和47年9月2日	故 藤井 友市 ふじい ともいち	元市議会副議長、商工会議所会頭	市議会議員を3期12年務め、またその間副議長を歴任。商工会議所会頭時代、佐世保船舶工業(株)(現・佐世保重工業(株))の設立に尽力された。長崎県公安委員長、九州相互銀行・前身九州無尽(株)の取締役社長として戦前戦後12年にわたり金融機関指導者として、また海上自衛隊総監部の誘致にも尽力された。
7	昭和51年10月22日	故 馬郡 喜八 まごおり きはち	株馬郡喜商店会長	本市経済界長老として商工業や教育、福祉などの要職を歴任。(民生委員53年、保護司17年、調停委員27年ほか)経営難に陥った佐世保重工業(株)の救済にも尽力された。
8	昭和53年7月7日	故 永野 重雄 ながの しげお	日本商工会議所会頭、新日鉄名誉会長	佐世保重工業(株)の経営危機に際し、日本商工会議所会頭・海運造船合理化審議会会長として政府、金融機関、関係株主間を奔走して救済に務められた。
9	昭和53年12月20日	故 坂田 重保 さかた しげやす	親和銀行頭取、商工会議所会頭	株親和銀行の頭取として、中小企業の指導育成に尽力されたほか、商工会議所会頭として、佐世保市経済界の中心になって活躍された。
10	昭和55年10月6日	故 辻 一三 つじ いちぞう	元佐世保市長(昭和38年4月30日～昭和54年4月29日)	市議会議長、商工会議所会頭を務め、昭和38年から4期16年間市長。前畑埠頭、弓張岳展望台建設、SSKバイパス開通、刑務所移転、第三ドッグ返還、名切谷・崎辺返還等に尽力され、最も激動期の市長として多大の貢献をされた。(昭和48年春、勲三等旭日中綬章、平成元年9月6日従四位)
11	平成21年3月21日	故 下村 脩 しもむら おきむ	ポストン大学名誉教授(ノーベル化学賞受賞)	平成20年12月、世界的に最も権威があり、科学分野における最高峰のノーベル化学賞を受賞された。本市に縁故の深い氏のノーベル賞受賞は、佐世保市民に大きな喜びと感動を与え、特に子ども達や青少年に明るい夢と希望をもたらすなど、その功績は卓絶で類を見ないものである。(平成30年10月19日従三位)
12	令和元年12月4日	澤田 秀雄 さわだ ひでお	ハウステンボス株式会社取締役会長	平成22年3月にハウステンボス株式会社の代表取締役社長に就任し、長期にわたり赤字であった同社を短期間で黒字化するとともに、本市観光産業を牽引する状況にまで経営改善された。